

Intelligent Hub 設定について (Android 編)

2019/02/02

本ドキュメントは、管理コンソールにおける Android 用 Intelligent Hub の基本設定について、各設定項目の内容を記載しております。

当設定項目では、Android 用 Intelligent Hub における MDM 管理サーバーへのデータ送信間隔や、GPS データ収集機能、AirWatch クラウドメッセージング (AWCM) などの設定を行いません。

※現在、「テレコム」につきましてはサービスを提供しておりません。

※ バージョン 9.4 より、コンソールの名称が“AirWatch Console”から“Workspace ONE UEM Console”に変更されました。

目次

1	設定場所	2
2	設定項目	2
2.1	全般	2
2.2	アプリリスト	3
2.3	社内アプリ	3
2.4	場所	4
2.5	テレコム	5
2.6	AirWatch クラウドメッセージング (AWCM)	5
2.7	SDK プロファイル	6
2.8	サブグループの権限	6
3	AWCM の手動スタートについて	7
3.1	AWCM の開始/停止手順	7
3.2	AWCM 接続状態の確認方法	7

1 設定場所

[デバイス] > [デバイス設定]をクリックし、更に([デバイスとユーザー] >) [Android] > [Intelligent Hub 設定]をクリックします。

設定を変更する場合は、[現在の設定]を[オーバーライド]にします。



<補足>

- 継承** : 上位階層(組織グループ)の設定をそのまま継承します。
 ※最上位階層(ルート組織グループ)は、システムの初期設定値が反映されます。
- オーバーライド** : 上位階層の設定を反映せず、指定階層にて独自の設定を行ないます。

2 設定項目

2.1 全般

主に Workspace ONE UEM サーバーへのデータ送信間隔などの設定です。(*付きは必須)



項目名	説明
ハートビート間隔	Intelligent Hub が Workspace ONE UEM サーバーにチェックインする時間間隔。
データサンプル間隔	Intelligent Hub がデバイスからデータを収集する時間間隔。

データ送信間隔	Intelligent Hub が Workspace ONE UEM サーバーへデータを送信する時間間隔。
プロファイルの更新間隔	Workspace ONE UEM サーバーでデバイスプロファイルリストが更新される時間間隔。
Google アカウントを必須にする	Google Cloud Messaging (GCM) を活用してデバイスにリモートコマンドを送信するには、Google アカウントが必要です。 AWCM を使用している場合は、[無効]にします。
電話番号を必須にする	加入に際し、Intelligent Hub に電話番号の入力を必要とします。この電話番号は、Workspace ONE UEM に記録され、デバイスの紛失、電源オフ、またはインターネットにアクセスできない場合のバックアップの連絡先番号として機能します。
ユーザー加入解除をブロック	ユーザーによるデバイスの加入解除を禁止します。

2.2 アプリリスト

Intelligent Hub 内にて表示されるアプリケーションリストが更新される時間間隔を 360 から 2147483647 分の範囲で設定します。※必須設定

既存の設定が 360 未満の場合、最小間隔が適用されます (仕様変更)。

2.3 社内アプリ

該当アプリのインストール時の通知アクションを設定します。

選択項目	説明	
インストールオプション	直接プロンプト	インストールに際し、プロンプト画面を表示
	ステータスバーに通知	インストールに際し、画面上のステータスバーに通知を表示
	通知なし	通知を行いません
SafetyNet アプリの検証	有害な可能性のあるアプリがデバイスにインストールされている場合にユーザーに警告します。	

2.4 場所

GPS データ収集機能の設定です。

場所 _____

位置情報データを収集 有効 無効

GPS強制オン 有効 無効 SAFE v3+ その他 1 個

GPS時間のポーリング間隔 (分)*

設定項目	説明
位置データを収集	デバイスから GPS データを収集する場合、[有効]にします。
GPS 強制オン	SAFE サービス ver3 以上対応モデルのデバイスでのみご対応可能。 (日本国内モデルのデバイスは対応していません。)
GPS 時間のポーリング間隔	GPS データを取得する間隔を時間で設定します。

※注意： GPS データ収集機能をご利用頂く場合は、上記設定に加え
デバイス本体の GPS 機能を有効化させる必要がございます。

※注意：GPS データを取得する間隔（時間、距離）を狭める程、デバイスの通信頻度が上がる為
バッテリーの消耗が激しくなりますのでご注意ください。

※Android の Intelligent Hub で収集した GPS データは、[データ送信間隔]の設定に沿って Workspace ONE UEM サーバーへ送信されます。

2.5 テレコム

デバイスの通話ログ取得等の設定です。

テレコム

通話ログを有効化 有効 無効

SMS ログを有効化 有効 無効

セルラーデータの使用を有効化 有効 無効

設定項目	説明
通話ログを有効化	[有効]にすると着信および発信電話からの情報を収集します。 収集データは、レポートにて閲覧可能です。
SMS ログを有効化	当 SaaS サービスではご利用頂けません。
セルラーデータの使用を有効化	[有効]にすると Workspace ONE UEM コンソールでデータ使用の詳細を示すレポートを作成が行えます。

2.6 AirWatch クラウドメッセージング (AWCM)

AirWatch クラウドメッセージング (AWCM) に対する設定です。 ※規定設定推奨

AirWatch クラウドメッセージング (AWCM)

AWCM を C2DM/GCM の代わりに
に
プッシュ通知サービスとして使用 有効 無効

設定項目	説明
AWCM を C2DM の代わりにプッシュ通知サービスとして使用	チェックを付けると、FCM(C2DM/GCM) に代わり、AWCM のプッシュ通知サービスを使用します。メッセージ、コマンドの配信は全て AWCM を経由します。 ※AWCM を FCM(C2DM/GCM) の代わりにプッシュ通知サービスを使用する場合、以下 2 つの設定は変更できません。

2.7 SDK プロファイル

Intelligent Hub に対応する SDK プロファイルを指定します。(※規定値推奨)

SDK プロファイル

SDK プロファイルV2 Android Default Settings @ Global ▼

2.8 サブグループの権限

下位グループ(サブグループ)に対する設定継承を指定します。

サブグループの権限* 継承のみ オーバーライドのみ 継承またはオーバーライド

選択項目	説明
継承のみ	編集した設定内容を下位グループに引き継ぎます。 下位グループは設定内容が引き継がれますが、編集は出来ません。
オーバーライドのみ	編集した設定内容を下位グループに引き継ぎません。 下位グループには初期設定値が適用され、独自に設定を行います。
継承またはオーバーライド	編集した設定内容を下位グループに引継ぎ、設定の編集を許可します。 下位グループは設定内容が引き継がれ、編集も可能となります。

3 AWCMの手動スタートについて

AWCM クライアントの展開の種類を「手動」に設定した場合は、管理コンソールから AWCM の開始を行います。

また、運用途中に AWCM をご利用する設定に変更した場合も、手動にて AWCM の開始を行う必要があります。

3.1 AWCM の開始/停止手順

[デバイス] > [リスト表示]をクリックし、リスト表示から対象のデバイスをクリックして詳細画面を開きます。

[その他のアクション] > [AWCM を開始] / [AWCM を停止]で AWCM サーバーとの接続開始/終了を行います。



3.2 AWCM 接続状態の確認方法

◇管理コンソール

[デバイス] > [リスト表示]をクリックし、リスト表示から対象のデバイスをクリックして詳細画面を開きます。

正常に AWCM サーバーに接続すると、AWCM 状態が「接続済み」になります。



◇デバイス (Intelligent Hub)

デバイスで Intelligent Hub を起動し、[このデバイス状態] > [ネットワーク]をタップします。

AWCM サーバーに接続されている状態では、[AirWatch Cloud Messaging]に対して[接続済み]表示になります。



以上が、Intelligent Hub 設定 (Android) についてのご説明となります。